

『スポットライト 世紀のスcoop』 原題:Spotlight 2015



© 2015 SPOTLIGHT FILM, LLC

映画批評

『スポットライト 世紀のスcoop』 原題: *Spotlight*
～ 不屈のジャーナリズム精神で実証する

塚田三千代 (翻訳家・映画アナリスト)

©m.tsukada

ボストン・グローブ紙の定期購読者の53%が地元カトリック教会所属の信者という地域社会に根ざしたカトリック教会の閉ざされた機密主義文化に迫り、慣習的でさえあった児童の性的虐待を明るみに出した。不屈のジャーナリズム精神によって、長年タブー視されてきた事を明るみに出した事実にもとづく映画である。



↑ ボストン・グローブ紙のゲーガン神父事件を追う編集室

2001年の夏、ボストン・グローブ紙に新しく編集局長マーティ・バロンが着任した。新たにゲーガン神父による幼児・児童の性的虐待事件の詳細を取材して明らかにする方針をだす。命じられた担当記者たちはウォルター・“ロビー”・ロビンソンをリーダーとするチームの4人である。独自の極秘調査による事実報告を、ボストン・グローブ紙の特殊記事覧<スポットライト>に掲載することで進める。事件の被害者や弁護士らへの取材を積み重ねるうちに、性的虐待を受けつつも信仰のもとに見て見ぬふりしていた恐るべき実態が浮かび上がってきた。



ボストンカトリック教会に在勤する数十人もの神父によって、幼児や児童が性的虐待を長年にわたって受けていたという事実が明らかになった。カトリック教会はこれを組織ぐるみで隠蔽してきた、という事実が神父からも得ることができた。ついに 2002 年 1 月、ボストン・グローブ紙はスクープとして一面に掲載し、全米を震撼させたスクープとなった。

【映画史リテラシー】

<スポットライト>報道後に神父による児童への性的虐待が判明した全米の都市と州名、およびその他の国と地域名は、映画本編のエンドローリングに出てくる。本映画のプレスシートにも FACTSHEET に掲載してある。Albany, NY, Baltimore, MD. Sacramento, CA. や Wellesley, MA, Worcester, MA. Yuma, AZ 他、Akute, Nigeria. Berlin, Germany. Buenos Aires, Argentina. Granada, Spain. Edinburgh, Scotland. Munich, Germany. Rio de Janeiro, Brazil. 他、105 の都市とアメリカ以外の 102 の教区で繰り返されてた事実が公表された。神父全体の 6% が小児性愛者だと、被害者団体 SNAP(Survivors Network of those Abused by Priests) はいう。これが黙殺されているのはバチカンが組織的に隠蔽しているからだと言主張する。2002 年、ボストンのカトリック教会が隠蔽した 70 人以上もの神父による性的虐待に関連する 600 の記事を発表した。これにより、当時のロウ枢機卿はボストン大司教区を辞任し、ローマのサンタ・マリア・マッジョレー大聖堂に就任した。2008 年、ローマ法王に 1478 人におよぶ被害者の実名の連名簿を手渡した。

www.bishop-accountability.org a database compiled by Terry McKlieman

2016 年 5 月

Cf. Databases and Lists

◆『真実の行方』 PRIMAL FEAR (1996)

シカゴのカトリック教会の大司教ラッシュマンが自宅で全身をナイフで刺されて殺され、事件直後、現場から血まみれで逃亡した 19 歳の青年アーロン(エドワード・ノートン)が逮捕された。青年アーロン被告の弁護を引き受けたのは、マスコミに注目されて華々しく活躍する元検事の弁護士マーティン(リチャード・ギア)である。彼は見つけたポルノビデオの分析をする。傍らに司祭らしき人物が見える。これを見てマーティン弁護士は「法廷の中では真実は陪審員の頭の中にある」とつぶやく。

多重人格者障碍 MPD (Multiple Personality Disorder) と呼ばれたが、現在では解離性同一性障害 DID (Dissociative Identity Disorder) という障害者を裁くことになり、アーロン被告の裁判は法廷で無効となる。そして殺人容疑者は死刑でなく精神病院へ入院させられ

ることになる。これを伝えるマーティ弁護士はアーロンから意外な告白を聞かされる。アルマーニの背広とコートを着こなす鋭敏弁護士マーティは額にしわを寄せ暗く沈んだ表情で被告の居る留置所を後にする。

真実とは？それは真実を超えるものなのか？

ちなみに、主演のエドワード・ノートンは本映画でブレイクして、『アメリカン・ヒストリーX』（1998年）、『ファイト・クラブ』（1999年）に続いて、アレハンドロ・ゴンサレス・イニャリトウ監督のアカデミー賞受賞作『バードマン あるいは（無知がもたらす予期せぬ奇跡）』Birdman or The Unexpected Virtue of Ignorance（2014）に出演している。

[映画情報]

2016年5月 全国公開

公式サイト：www.wolfwallstreet.jp

配給 ロングライド © 2015 SPOTLIGHT FILM, LLC

上映時間(show time) 128分 製作国 アメリカ

アカデミー賞作品賞・脚本賞受賞

英国アカデミー賞脚本賞受賞

ゴールデングローブ賞ノミネート 最優秀作品賞(ドラマ)・最優秀監督賞・最優秀脚本賞

製作 マイケル・シュガー スティーブ・ゴリン 他

監督 トム・マッカーシー 脚本 トム・マッカーシー

出演者

マーク・ラファロ:マイク・レゼンデス マイケル・キートン:ウォルター・“ロビー”・ロビンソン レイチェル・マクアダムス:サーシャ・ファイファー リーブ・シュレイバー:マーティ・バロン ジョン・スラッテリー:ベン・ブラッドリー・Jr.



区切線

© 2016 m.tsukada. All Rights Reserved.